



新累解脫物語  
—

^13  
3912  
1



阿八13  
8912  
1

曲亭馬琴著

才非馬御彈琴未能

右野相公

# 新累 解脫 物語

葛飾北齋畫

身具風史吹簫猶拙

錄文化丙寅



浪華文金堂藏

新累解脫物語序



輪迴報應之說不獨釋氏崇官  
布其義而已去儒久禁妄教生者  
莫索其物或取若舞卯等語可見  
百况通家上章豈可自法乎予嘗  
聞佛氏言一切生法如植粟得粟植  
豆得豆是因心成体有華則有果



新累解脫物語卷之一

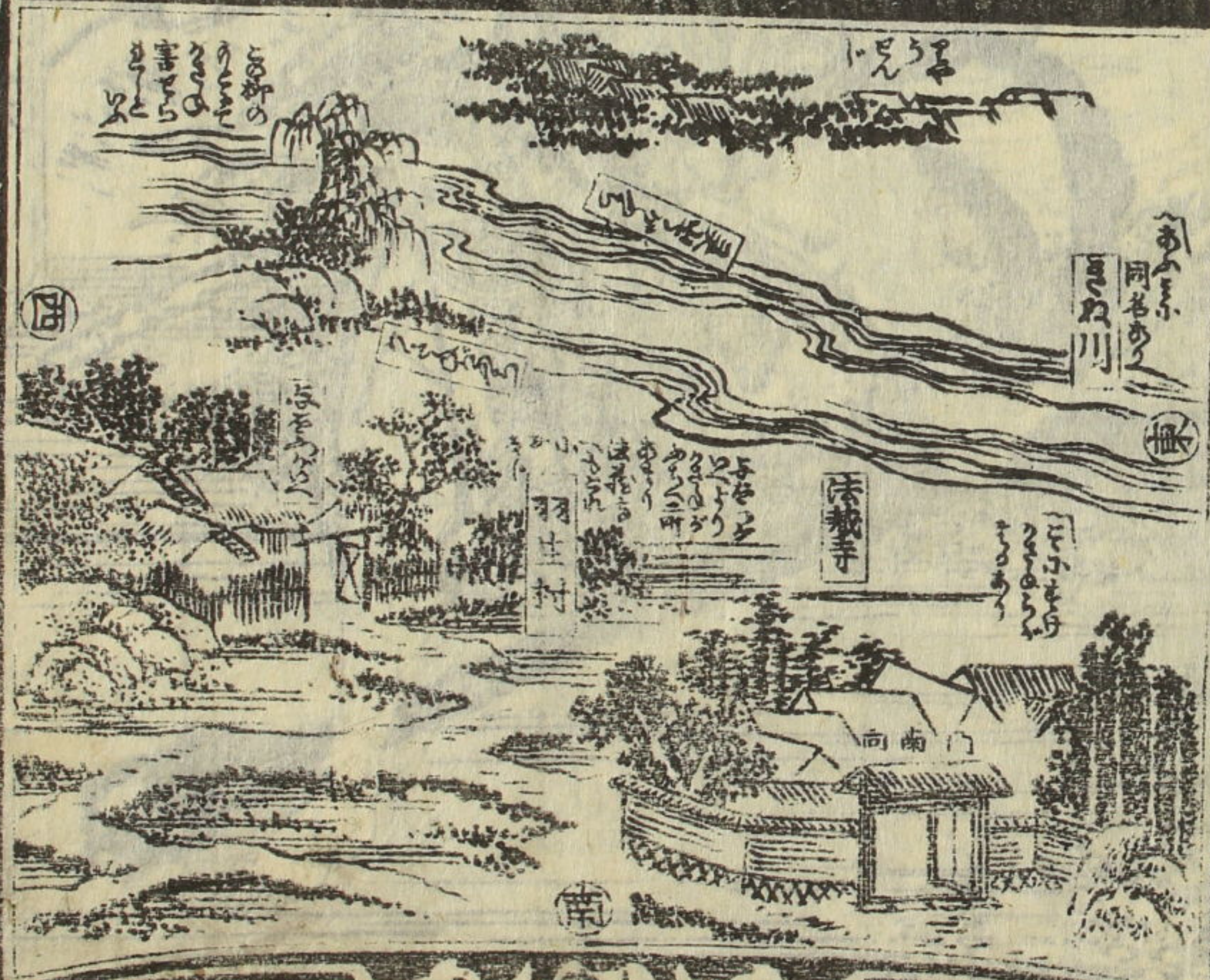
如谷在聲，語雄而響，志厲夫今。  
觀此為託一個嫖母事，而後許多。  
果報明占禍殃，有自登卜，關第招。  
非情文衍飾，以子勸懲之路，廣諭。  
人例其筆端之奇，戲雜荒誕。  
鼓盪激薄，可去亦可，可歌可泣，能。  
施羅二生，必在欽手，真醒世奇言也。  
至重畜之妙，令人心融神釋，色。  
飛眉彘子，百長覽殆不覺，厭矣。  
近日傳奇之檀場稗史之珍珠船。  
也有是箇兩才子，植如斯善巧，亦。  
便之筆，種由獲魚，德園滿不亦。  
之福，名出肆，鑄之老，假其果報。  
之感，應亦豈，亦有得無，亦幸哉。

是理所必有也文則成物亨馬琴  
子惠來北喬之手刻之老吾浪  
華文金堂也時文化丙寅素平  
月朔呵凍書於細香書屋之燈

友石主人識

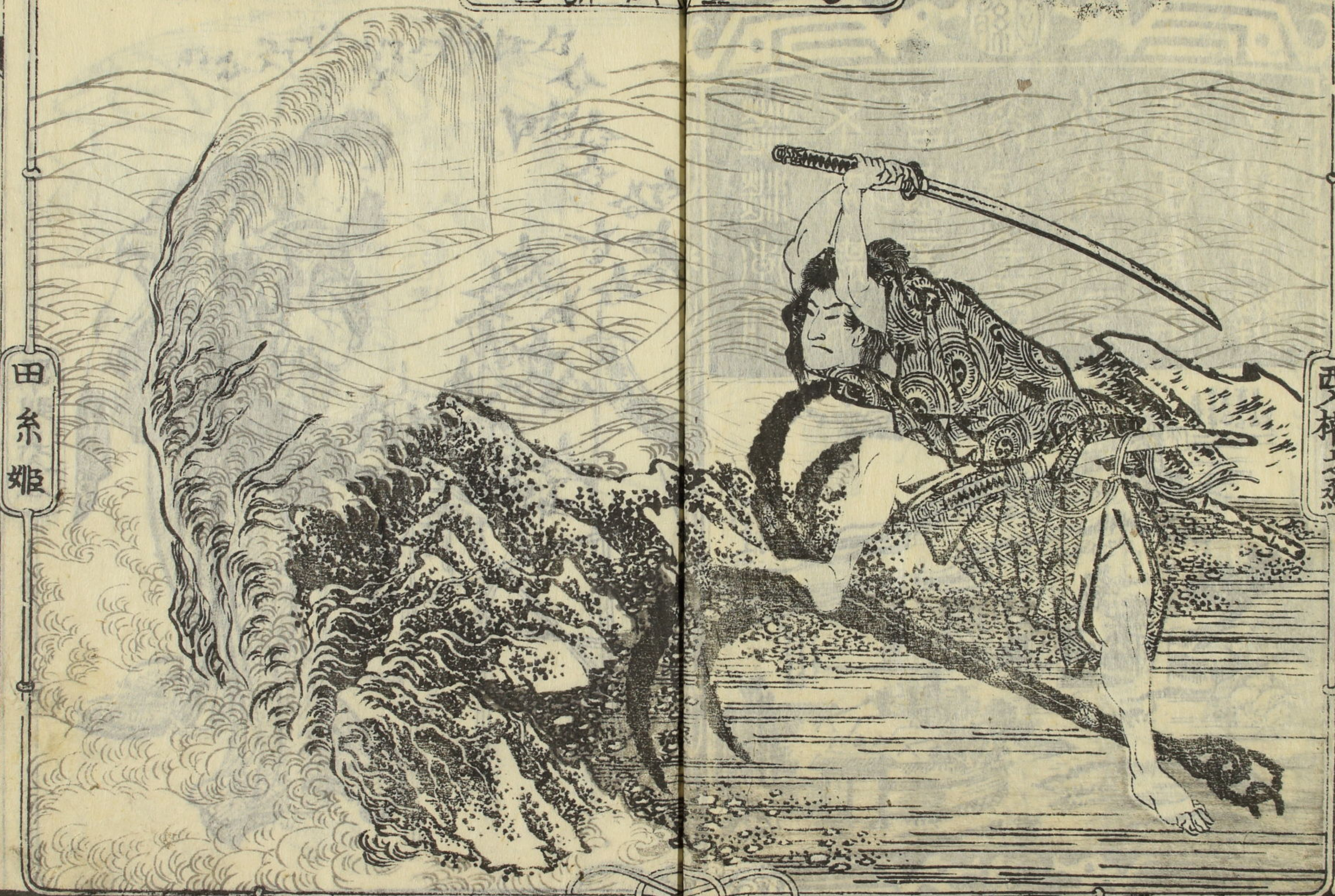


繼繼尚尚  
不亦斯未  
雷擊雷擊  
森崎義聖  
勤勤音武  
報也來來  
早幾來幾



田系姫

西入權之丞



田系姫

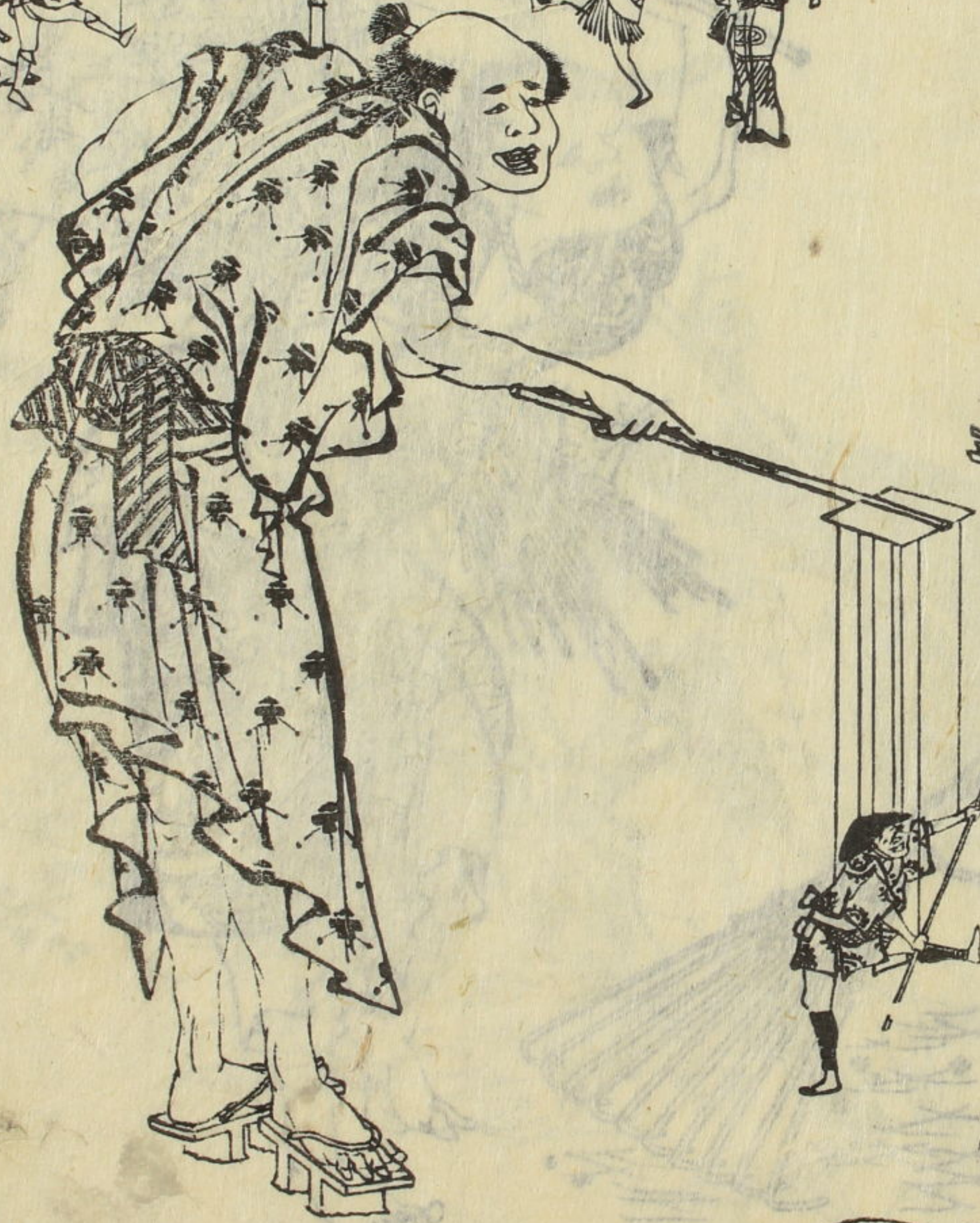
西入權之丞

行内大早見切吾

東日本列島月夜記

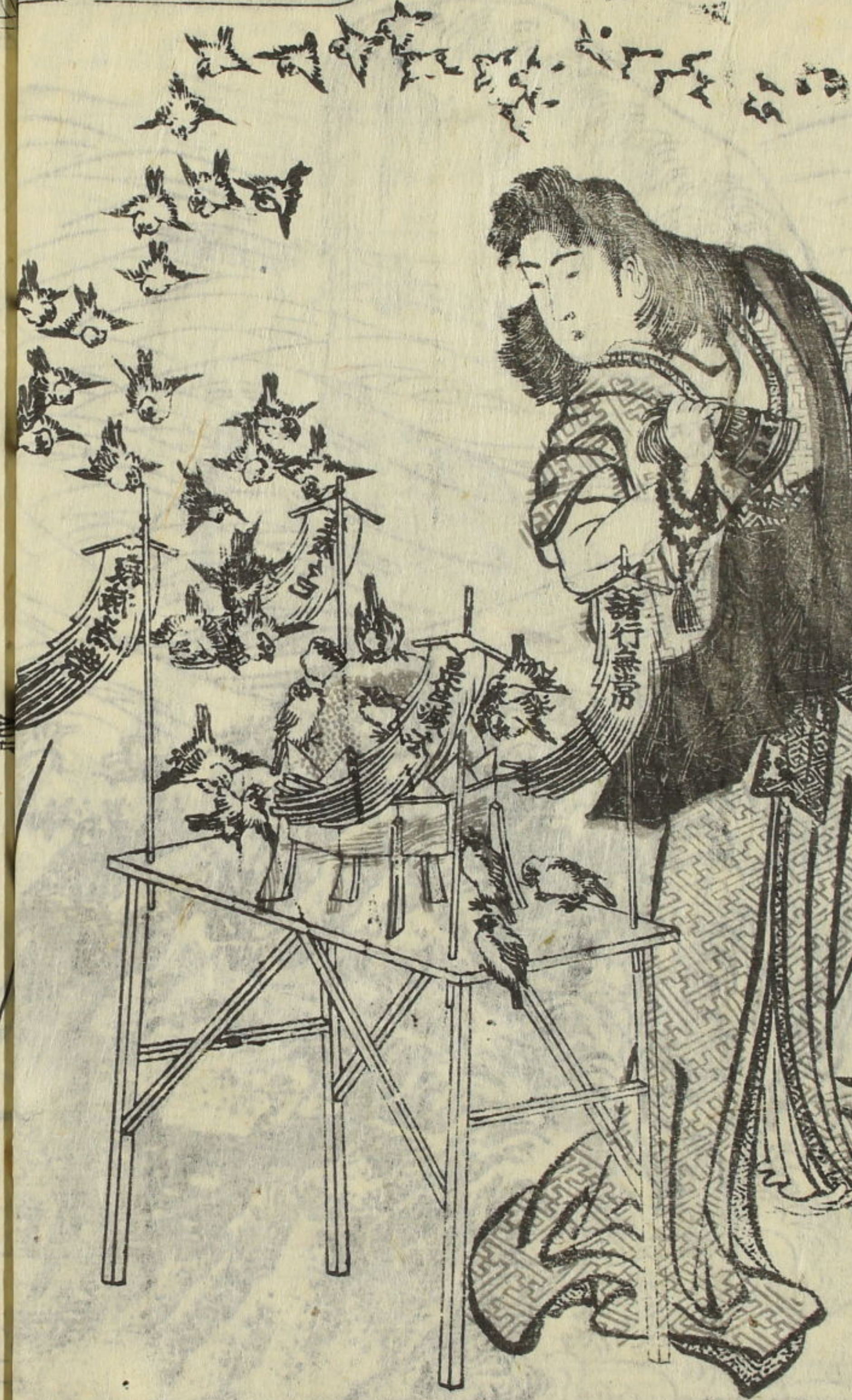
送搖扇  
通齊間  
露齊間也

通幾乃  
軒斜  
雕宮



新撰解脫物語卷之一

羽生與左衛門



單到真入屋

新撰解脫物語卷之一

加左禰

月 牙 插 頭 合 鏡 之

團 扇 之 醫 治



織越與右衛門

新撰解脫物語開語

嘗聞下總國岡田郡梅むら小和名類聚鈔國郡の部小岡田郡あり。月鈔下總の御名豊田郡の條下小岡田。餘積手向大方の四御あり。後小岡田御を以郡とす。羽生村の農夫与右米つが妻累ハ相親究ク醜惡なり。某年。其

月某日彼累給川の南岸ついでこれのいりのりささねがみ。吳山寺淵小干て良人と右米つが

乃小殺害せしむ。今その処をあんなれう。こころさいとことと。其の冤魂後妻麻績が生る所の女兒さくく

憑く呵責せしむと甚し。これ古今未曾有の鬼病なり。百計を盡しども

治まらざるを得む。偶道高権智の神僧濟度志ぬ小あて冤魂支地小

得脱す。その既畧を記しし草紙を元靈解脫物語とし。元禄三年十月

作者亦新著聞集寛延二。小も累がつを載し。近曾浪速の書肆

河内屋大助通小解脫物語二巻を贈る。いにくらの書僕が藏板なり。

あつむとむ文辭麗漏小く婦幼の耳目を樂もるの小あつむと

願く先生脩飾し其の奇を増ととみ。余諾くこれを考覈せしむ

小。踏踏踏。因く己を得む。往ヒ口碑小付るところを摘く。

その闕畧を補ひ間亦足らざるの。或ハ鬼名小撮合し。或ハ鳥有子

小托し。唐山の小説小擬と文を綴と若干巻倉卒の際し

稿を脱し。命く新撰解脫物語といふ。新ハ是舊版小あつむとむを

あつむとむ。夫解脫とい何ぞ。翻譯名義集云肇曰。縦住無礙

塵累不能拘者解脫也。什曰。亦名三昧亦名神足或令

修短改度或巨細相容變化隨意於法自在解脫無礙

故名解脫。又曰。心得自在不爲不能所縛故曰解脫。淨

名疏云。一真性。二實慧。三方便。故経云。諸佛菩薩有解

脱名不思議。若菩薩住此解脫者能以須彌之高廣内ニ

所撰解脫物語卷之二

新撰解脫物語卷之二

新撰解脫物語卷之二



芥子中乃至種七。發現莫測。即是三種不思議義也。何者。諸菩薩有解脫。即是真性。若菩薩住此者。即是實慧。能以須弥内於芥子等。即是方便大品云。心得好解脫。慧得好解脫。重裕云。心脫俱。慧脫是惠。所謂。沒夫冤魂神僧の濟度。小つて成佛。一念無礙。煩惱を脱離。亦是好解脫を得。つるといふ。且累解脫の目。後輩が譯小塵累拘不能の解脫。つるといふ。今題目を更改せんとす。其の披閱する因を推果を察し。戦と競と。善を修し。惡を廢し。心解脫を得。小ちう。ちう。他者の荒唐も。善巧方便の端とす。丙寅仲秋書。

江戸

著作堂



如是教聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大比丘眾

千二百五十人具皆是不可羅量及行廿散長也今新撰

新撰解脫物語總目錄

一名卷談因果經

摩訶 阿難 劫寶 薩摩 常精 天天 土有 舍利 樂故

邪淫戒篇第一義  
偷盜戒篇第二義  
飲酒戒篇第三義

羽生村玉芝投宿  
木奴川珠雞延寃  
追兎玄冬被謀白撞  
喪對玉芝給事朱門  
醜婦觀世願剃度  
美男闕窺結替緣

難陀 摩訶 諸善 菩薩 量諸 億億 說法 受諸 皆是

新撰解脫物語卷之二

寶周

妄語戒篇第四義

西入謀奸陷田糸姬

純以

織越釀禍傷加佐彌

亦以

殺生戒篇第五義

二靈責德惡醜女再棄

大如

一刀斷煩惱美男初仕

妙香

毀謗戒篇第六義

賺印帳芋績說靈夢

作天

罪金正胤命婚姻

以清

貪食戒篇第七義

正胤一八室印幡顯靈

復次

法恩可心芋績戀仇

舍利

邪見戒篇第八義

城隍廟清三郎們興誣鼓戲

其音

肉食戒篇第九義

緞川隄與右衛門殺加佐禰

舍利

欺誑戒篇第十義

人面瘡吹氣芋績自殺

阿弥

洗刀女僧折行者

地藏并現化烏有初顯

時俱

聽法冤魂得解脫

其佛

新累解脫物語十戒字

佛光

明無

彼佛壽命及其人民無量無邊

阿僧祇劫故名阿僧祇

新撰佛經物五口卷之二

池底

樓閣

蓮華

光微

土常

生常

以食

功德

雀鷄

其土

此鳥

皆是

土微

樂同

利甘

佛光

繡像目次

一 猿路の宿り	くまのかみ	農夫の雨婦	須川の水鏡
二 千速が馬の危難	石濱の殿の特倉	燈虫のちぢり	峯の松を
三 野寺の巻花	色中の魃鬼	夜川のうと濁	むらぎの遊み
四 輪回の稲舟	雨夜のぬれ衣	因果の味と脊	夜へのあらしの
五 夢路のうと	社瓦の花おどろ	故御の片便	利藤の水の月
六 玉の芽柳	水際のもつと	御法の花雲吹	藻よむむ虫
通計三十頁赤地圖肖像題目の外小あり			

新撰解脫物語卷之一

東都

曲亭馬琴纂脩

第一

羽生村小玉芝宿を投  
木奴川小珠雞寛を延

いづこの御時ふりありん。下總岡田郡羽生村小織越与九郎との農夫ありり。妻の名を珠雞といふ。顔色美ちうとむとむむま。怜れ織績女子の業はさうと田植草苺とも。さうと男子小芥らど。え来与九郎小一人の女児ありり。累といひ。今茲僅小三歳されば。は雞蛋乃一塊。美悪いり。もともひつとれど。田舎人のもの。よろづま。さうと。その名を累といひ。近隣の老知これき。さうと。稱ふ。累の訓加左衽されば。さうと。此与九郎の法恩寺の村長清三郎と。さうと。従弟。小女児累の彼が法恩寺

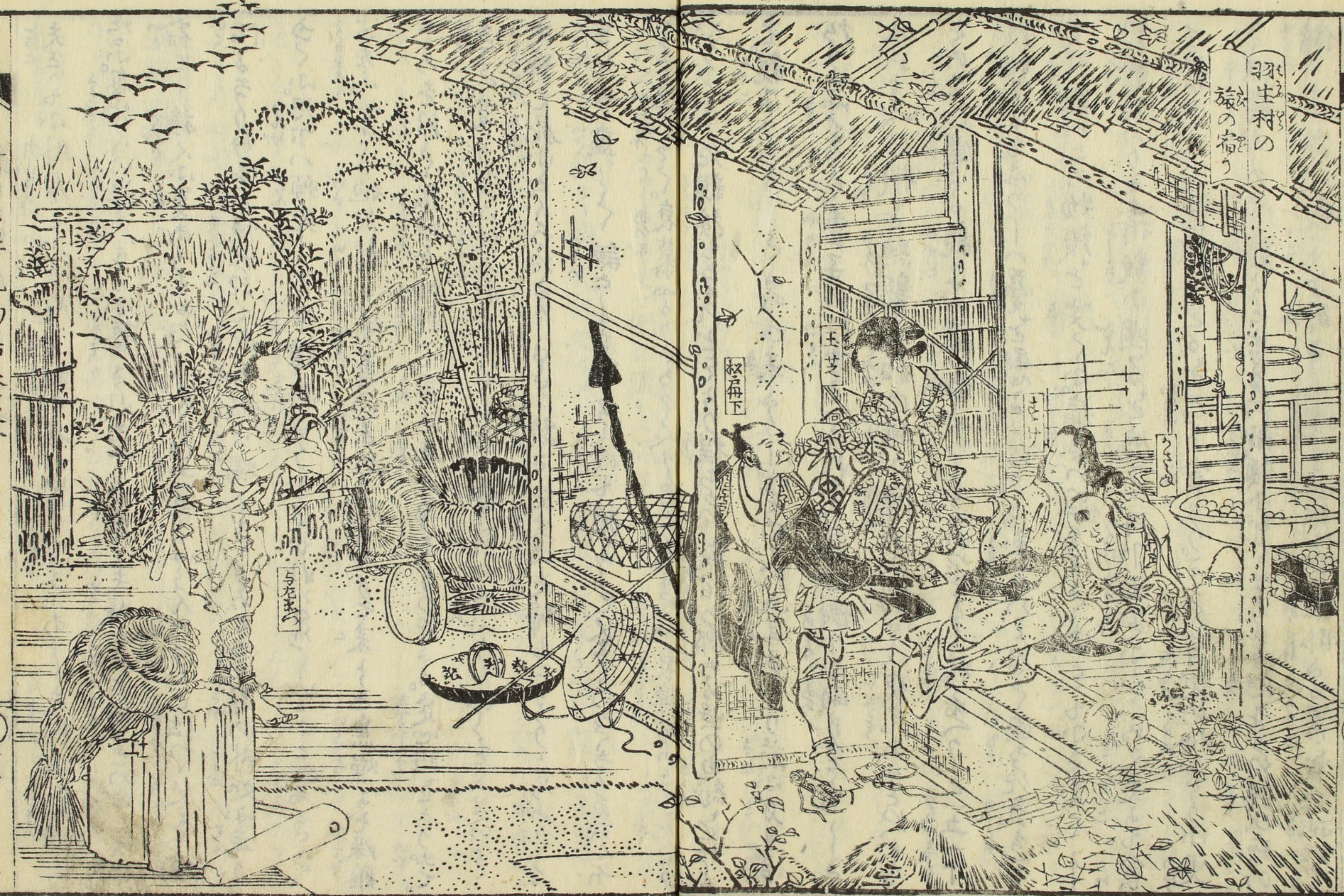
村小ありしとて。夢搗下。衆女と密會す。奉らるる。母の産後小。身よりり。
 子。その子を携はる。織越の家小。まゝり。とて。まゝれば。与左。まゝの。女。皆。小。て。
 累の携。養。ち。む。ども。珠。雞。の。つ。ゆ。り。も。夫。を。蔑。ら。む。と。又。累。と。愛。慈。
 む。と。実。子。小。も。過。り。一。御。攀。す。その。負。實。を。稱。譽。する。ま。ほ。り。く。て。
 ある。日。の。夕。に。小。年。齡。五。十。あり。り。る。後。人。二。ハ。む。り。の。美。女。を。携。り。る。長。
 途。に。疲。勞。を。ん。な。ら。く。与。左。あ。ら。が。門。方。さ。し。観。望。す。この。夜。の。歌。を。も。
 と。め。り。珠。雞。の。その。形。容。を。みる。小。痛。ま。し。く。お。ぼ。え。る。強。顔。も。り。り。む。
 夫。の。妹。小。出。る。い。ま。む。り。ま。ね。と。ども。く。も。い。ら。せ。し。ま。づ。こ。ち。ま。と。と。
 裡。小。誘。引。か。柴。折。焚。つ。山茶。煎。き。ど。と。と。歎。待。げ。旅。人。の。その。信。こ。
 足。を。よろ。こ。び。げ。え。累。が。母。の。備。を。り。き。ら。く。び。と。袂。小。搦。削。を。化。し。き。
 く。愛。し。く。物。い。ひ。ら。る。も。人。小。寄。り。身。の。いと。あ。れ。は。捨。然。小。あ。ら。と。与。左。の。
 む。が。身。丈。より。一。度。高。く。荊。草。を。肩。へ。ま。る。こ。ま。づ。小。珠。雞。忙。し。く。出。迎。え。扶。
 かも。ら。い。る。間。常。より。遅。く。覚。え。小。こ。こ。を。餓。も。ま。ぬ。ひ。け。ぬ。彼。知。る。人。
 ち。の。ひ。ら。れ。く。宿。を。め。と。ぬ。ぬ。ひ。一。程。小。に。身。の。家。小。在。る。ぬ。と。歌。し。進。り。
 ち。り。よ。く。夕。餐。小。と。と。小。麥。の。団。子。を。搗。行。り。する。志。が。一。俟。く。と。
 た。ま。ぬ。や。將。粟。の。飯。を。さ。ら。り。や。と。ひ。が。与。左。の。点。頭。を。つ。れ。い。ま。
 物。ほ。ら。む。あ。ら。と。累。の。團。子。ま。ら。う。ほ。ふ。い。ま。む。と。い。ふ。小。あ。と。さ。し。ら。笛。を。ま。
 つ。ら。と。い。ひ。つ。搔。抱。れ。地。炷。の。向。ひ。小。ま。ま。と。と。と。と。後。人。小。り。り。る。僕。
 の。主人。ま。ら。く。与。左。と。い。ひ。り。の。と。ぬ。ぬ。あ。ら。と。と。と。と。た。究。く。食。徒。れ。は。進。り。
 ま。る。物。も。さ。し。露。宿。日。ん。ま。の。勝。ち。り。と。お。ぼ。え。ば。致。す。小。ま。ま。と。の。あ。小。
 後。人。へ。今。宵。の。庇。の。よろ。こ。び。と。い。ひ。と。を。回。答。ぬ。その。と。与。左。の。折。燒。
 柴。の。火。光。ま。ら。く。づ。と。推。ち。る。女子。を。みる。小。正。小。是。沈。魚。落。雁。因。月。羞。花。

新編源氏物語卷之一

九

の容止さう小比ん小りのさ。弘經寺の栴あまの天井小画。天津あまの虫女の袖ゆかたの  
 の村落むらさうさうの勢いきさ徳ある人の女兒むすめといふともいふべし乃心なりこころにさう  
 の團坐だんざさうさう綾錦あややまさうさうさう持もちしつ。猛まを小刺衣こさしぎの袖引そでひきのほ  
 ろかさひさりのさ。言こと卒つひ余あまのあれど。そのゆめの客人の息いきせふを  
 あらわゆるさる故ゆゑ小く寢ふししと旅たびのまのさうと信まことぢちと同おな旅人りゆうじんのさ  
 ぢぢぢぢが女兒むすめさう。年とし才さいの十六じゅうろく名なを王わう芝しばとさうづり。原はら某そのの管くだん領りやう  
山内憲政の走はし卒つひ小。松まつ戸と丹に下げといふのさうと下した衆しゆうのあまあまと勤ごん心しん  
小女子が人ひとさうさうさう末すえのめいさうとさうひ縫ぬい刺さしのりりもさうさうさう。  
糸竹の技わざ何なにれとさう習なましつるさうの憲けん勝しょうさうめいさう。玉たま芝しばさうさう  
 へたさう。風かぜ声こゑありさうさう備ひ葦あしの如ごと指さし小こさうさう。そのゆ成なりららと刺さし無む  
實の讒ざん言ごんさうと忽たち比ひ流りゆう浪なみの身みとさうりり。妻つまの世よとさうさうさう。外とち小  
親子こさうさうさうさうさうさうさうさう。その人ひとの五年ごねんあまあまりり前まへ小こさうさうさう  
 たりとさうさう。妻つま子の往むか方かたとさうれさう。その心こころ樹き下げ小こ雨あめありさうさうさう。  
 今いまのさうの撒さと絶つぎ繫づりづの儀ぎ小こ漂うらふ小こ似にさう。夜よ光ひかりありといふさう  
 そのまに遇あはある親おや子こが薄うす命いのち。さうさうさうさうさう。精せいあありといふ一いつ五ご一いつ十じゅう  
 成なり物ものさうさうさうさう。い憂うれを耐たむさうのりさう。玉たま芝しばのさうさうさうさう。面おもてさうはは氣きさうさ  
 せ。殊こと雜ざいいの物もの結むすぶとさう小こ。痛いたさうさうさうさう。夫おとことさう小こさうさうさうさう  
 いひ慰なぐさめさうさう。折をり敷しき小こ團だん子ごを盛もる。丹に下げ玉たま芝しばのさうさうさう。又また夫おとこも食くら  
 へ累かさね小こ子こさう。さうは残のこさうさうさうさう。食くらひさうさう。自みづか化けの物ものさうさう小こ更さら  
 へ。法はふ藏そう寺じの撞つ寢ねとさうさうさうさう。能よく頃ころ小こさうさうさう。知しさうりさう。拂はらひ夜よの  
 儲たくわへ旅たび人ひと親おや子こを卧ふさう。霄よさうさうさう。睡ね卧ふる累かさねさうさう。抱かかりて。

羽生村の  
旅の宿り



板下

玉芝

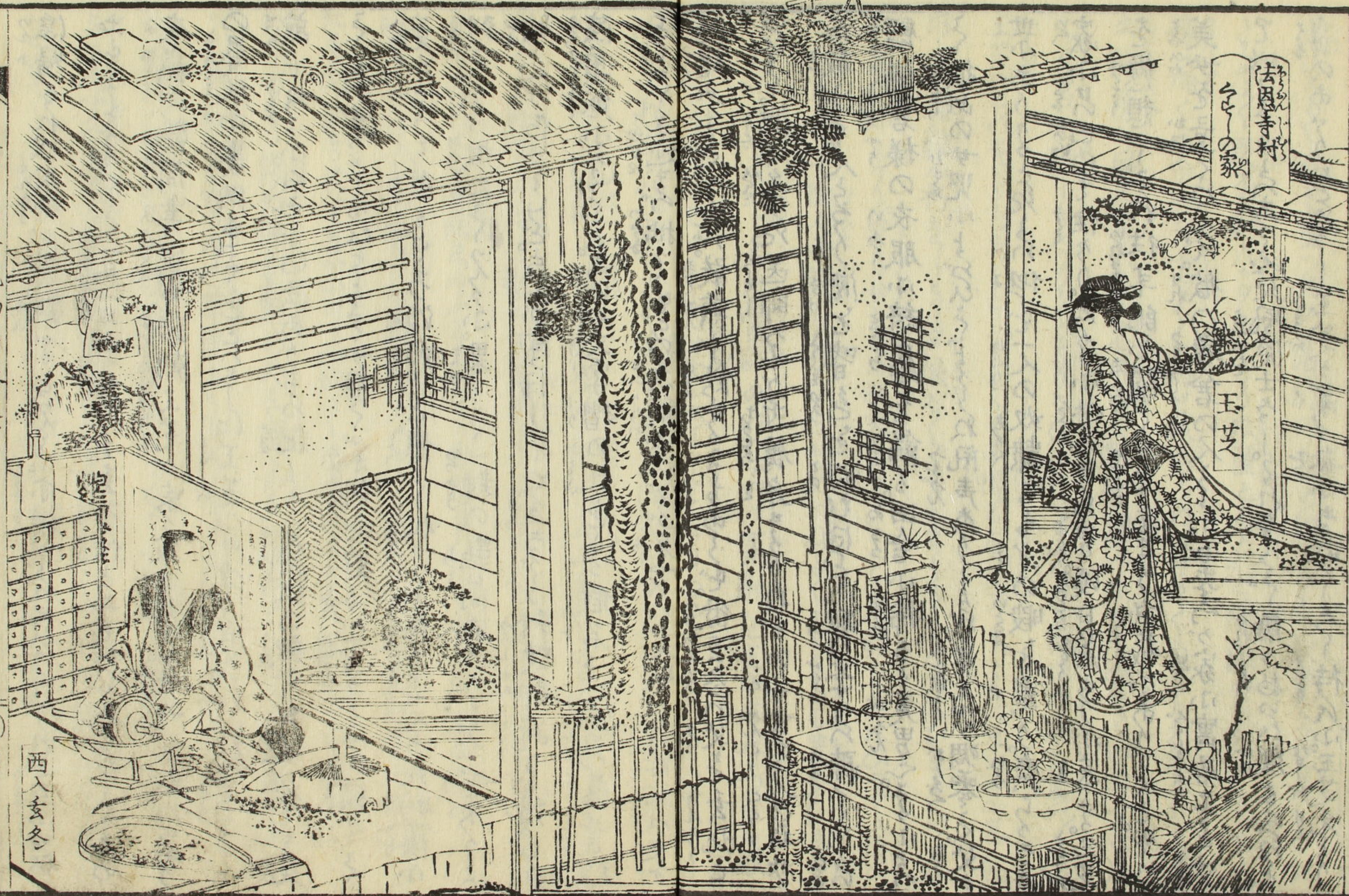
新編 月言卷之二











法恩寺村  
まごの家

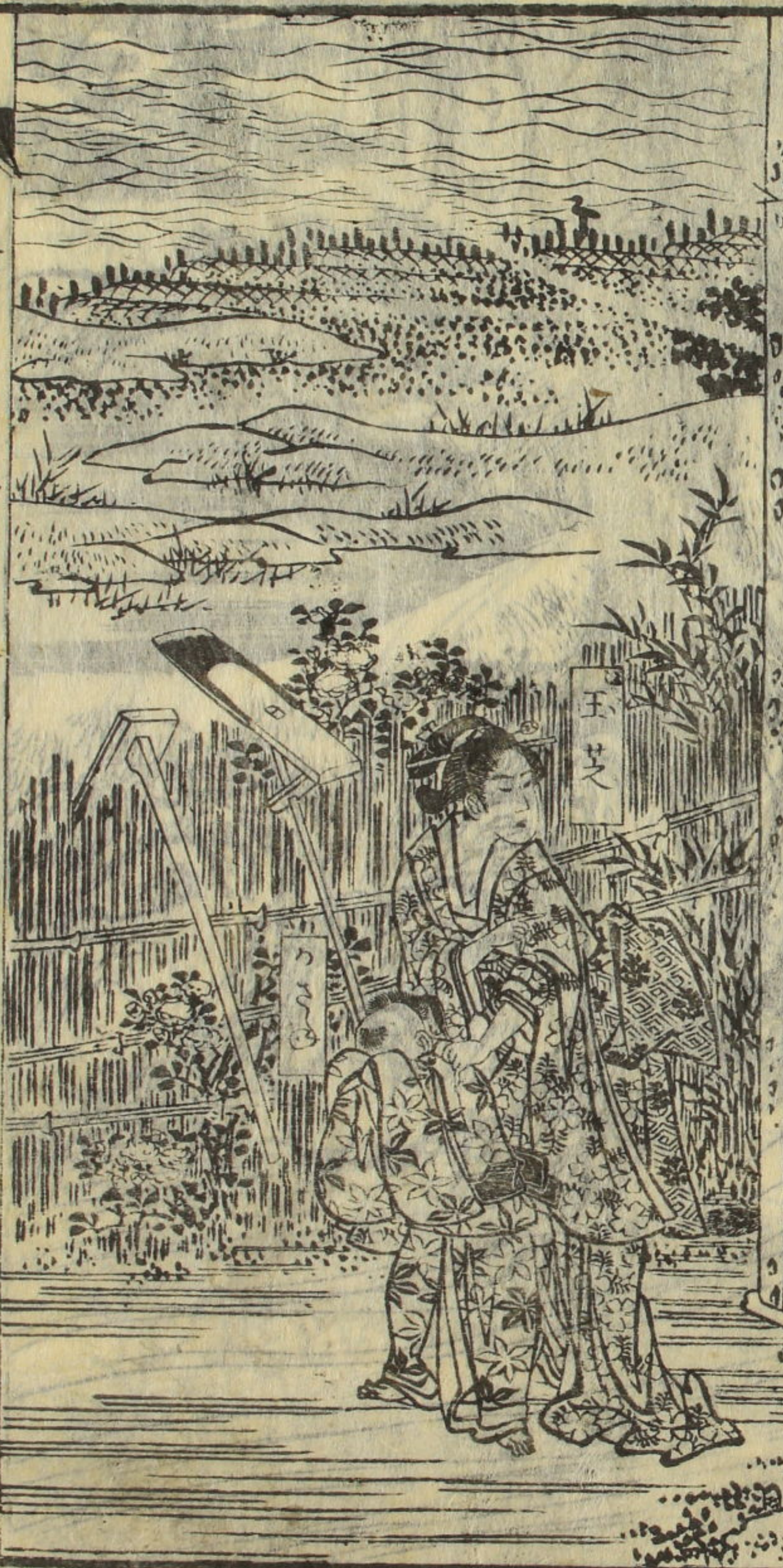
玉芝

西入玄冬

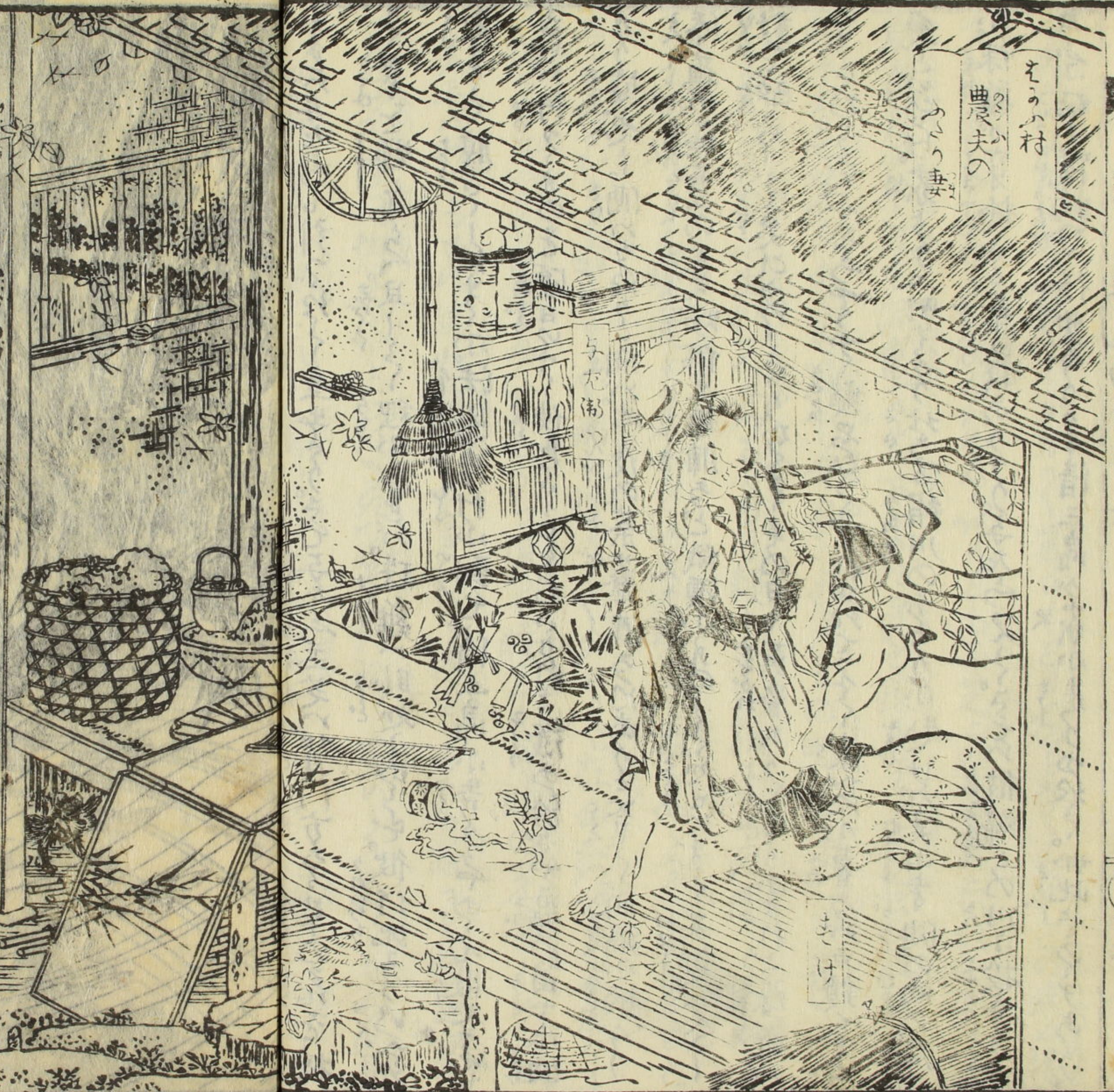
廿七

淫婦されば。玄冬ぐいと艶たるをらん。亦憎くばとひたり。されど互小のひ  
 女とよまがちく。一日一日とこころ小。玄冬信とありひつくる。あつと。その  
 夜竊小艶筒書寫ゆ。詰朝玉芝が束を収まら。件の。翰紙らより  
 の。疊紙小裏納む。そととひちりに玉芝小の。是は如。ひさふとく。  
 煎と用ふる。ふらぐの法あり。その記し。疊紙の裡小。白方とく見  
 くる人小。あつと。あつと。あつと。茶劑と遍与ば。玉芝を。精し。く  
 莞尔とうち笑。とろのゆりと應。忙しく走り去。へち死物蔭小  
 到く。うち披。くつる。果。一封の艶筒あり。人。やま。と  
 胸。うちさ。と。えま。封皮押断。續む小。  
 陸奥紙小。ち。と。まの。文字摺の乱。と。假名。花。落葉。の  
 と。迹。ま。と。の。身。死。ぬ。べ。殺。師。人。を  
 活。め。れ。ど。これ。の。君。と。活。べ。と。も。お。ぼ。え。む。と。書。り。羽。五。こ。を。返。り。せ  
 り。と。かり。ひ。く。艶筒と巻。と。を。かく。秘。と。ま。と。の。日。殊。雞。の。殊。と。昔  
 け。と。と。臥。如。より。玉。芝。只。今。つ。つ。あ。り。是。小。奇。に。え。小。と。ま。く。  
 ち。ひ。ち。り。ぬ。人。の。看。病。志。あ。つ。と。あ。つ。と。息。ま。れ。と。堪。え。小。素。湯。あ。つ。と  
 賜。ち。ん。や。と。の。玉。芝。は。も。あ。つ。と。小。牙。も。と。く。物。を。お。ひ。あ。つ。と。れ。の。足。で。八。つ  
 た。ど。朝。ま。た。より。茶。と。り。小。ゆ。と。苗。字。と。り。の。数。も。も。あ。つ。と。累。の。こ  
 ち。小。ち。で。湯。或。沸。と。違。あ。つ。と。湯。と。つ。と。水。と。と。飲。め。と。あ。つ。と  
 小。罵。り。お。し。も。与。左。の。草。野。より。つ。り。ま。と。と。竹。の。声。高。小。お。ひ。ひ  
 ぬ。と。問。へ。玉。芝。の。ち。は。類。の。あ。つ。と。と。如。此。の。ゆ。り。と。告。と。り。  
 与。左。あ。つ。と。ち。も。小。怒。と。罵。り。と。い。と。り。が。す。と。の。時。殊。雞。の。す。小。と。の。び  
 せ。と。と。と。起。と。枕。方。ち。る。扇。と。押。除。夫。と。玉。芝。小。對。と。り。の。つ。り。

小身二人小情由あるゆゑ小。さぶ身く罵らるゝとらみのとさうど是の病の源  
 ちさば。ささき死ねると俟ぬゆ。あつちりとも玉芝とのとさうどは松小まきふ  
 炭竈月小甲乾を泥亀さく。方がた身を疎も。か夫のさひくぬを  
 ねく。とせりあふあふど。歸る去灰もあふ。牙の暇をとめて出もゆべれ  
 ど。さ身いの家小生れ。又母のさうちり。頼りた氏族さうた悲しく死  
 く。又小送さく。野邊より外小身ひとり。あつた宿もあつ。小阿害こと  
 ち。く作さう。かくま。病も瘦り。いさ。存命。たけ。今さう  
 が。後ちさ。いさ。罵るゆひ。さうち。恨つ。謔言。さう。晴の光。凄。け。と。  
 与た。つ。物とも。と。ん。這奴執。小。う。さ。れ。く。謔言。さ。も。誰。う。それ。を。實  
 言とゆ。ん。ち。は。懲。さ。や。と。いた。ま。た。つ。美。人。扱。り。堅。め。く。走。り。り。脊  
 三。四。ツ。打。は。る。小。累。い。これ。小。驚。に。拍。と。は。と。は。玉。芝。の。抱。た。く。背。月。小  
 ち。さ。と。与。た。も。も。引。つ。た。く。ま。さ。う。さ。と。子。を。玉。芝。の。背。門。方。ち。草。の。花。を。摘  
 く。累。を。賺。さ。く。且。く。裡。小。入。る。珠。雞。の。卧。処。あ。つ。ど。彼。行。比。う。け。死  
 打。さ。く。腹。さ。く。死。ま。く。小。法。恩。寺。村。小。到。て。清。三。郎。小。告。る。や。あ。ん。彼。忍。ま。さ。ち  
 ち。げ。行。く。月。の。を。頃。日。く。使。せ。る。を。わ。ら。れ。と。織。あ。ひ。さ。や。鬼。の。田。や。小。酒  
 り。提。ぶ。酒。い。さ。れ。と。向。バ。昨夜。の。茶。蔭。漉。ち。は。あ。つ。と。答。く。間。鍋。小。柄。さ  
 係。道。の。サ。加。薑。豆。の。美。妙。備。火。雉。肺。ち。ど。俄。頃。小。月。の。く。知。せ。た。ま。く。安。排。二。入。さ  
 對。て。敵。う。く。笑。ひ。の。さ。り。の。く。さ。その。日。も。黃。昏。ち。り。り。り。小。り。れ。ど。珠。雞。の  
 い。さ。ぬ。さ。と。子。を。さ。う。や。や。疑。あ。ひ。く。これ。ゆ。て。さ。く。未。だ。小。暮。さ。バ。戸。鎖。て。ま。ら  
 ぬ。と。い。ひ。け。家。より。二。所。さ。う。ち。ち。る。絹。川。の。ち。り。り。小。赴。け。が。吳。山。寺。閑。の。向。の。岸  
 小。珠。雞。が。空。牙。捨。る。草。履。あ。り。り。子。を。さ。え。く。さ。の。彼。婦。の。川。小。投。さ。う。と  
 ち。小。猛。小。慌。忙。つ。徒。才。ち。り。り。清。三。郎。が。秋。小。走。り。ゆ。れ。く。如此。と。の。さ。あり。



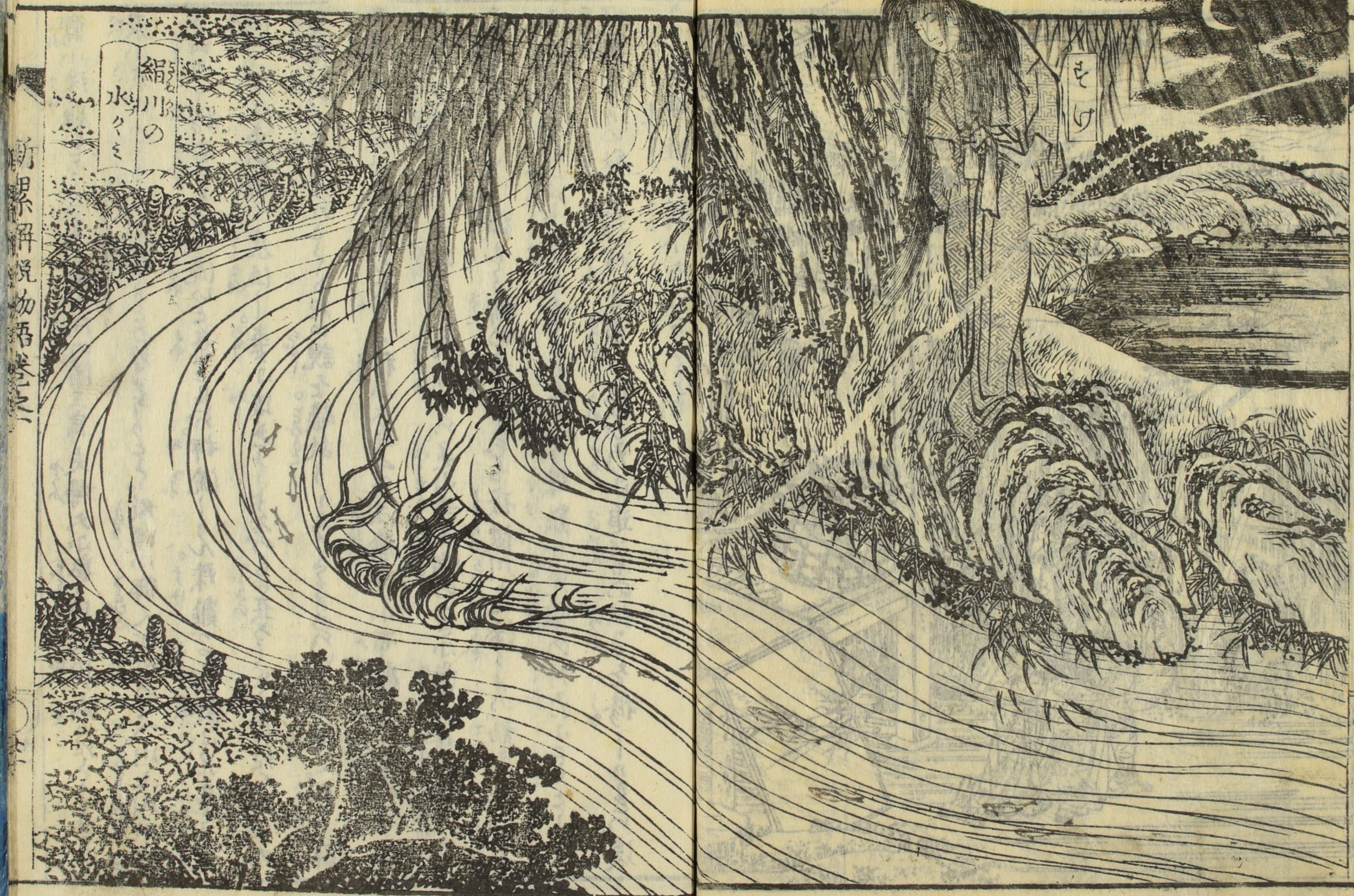
玉芝



まろの村  
曲良夫の  
あつら妻

与尤南つ

まきけ



新見解説物語卷之一

新見解説物語卷之一



玉芝の彼日より西入玄冬小女ひを運がらんとも。今さう送る言詰さく  
 子左とつが妻とより小女れど彼人のこと忘る薄さく。その日の艶簡の  
 返事ぶふせざる向小。殊難が在るもちりり茶さう小ゆくこちをいしと  
 遺憾をぶえ折るがさく見送りの一日宿費生りて。終日  
 食と断る時さうそれと子左を驚た慈ひ玄冬の手さうそれと名医の  
 子さう。それより外は醫師の家を遠く。それ行く。彼人を迎来さう  
 んと。さうさう向夫の導たさるともさく。忙しく法因寺村小走ゆゆ。  
 さうさうのよと頼ゆゆ。玄冬の玉芝が返簡がふせと。子左とつが妻と  
 さうねとさういりねと。さうさうはさうさうさうの面影のさうさう。それ  
 ざう誘りさく。子左さうが家小来さう。容体雷小同うて。脈と診と。玉  
 芝の豫る字あゆる艶簡と。と玄冬が袂小さう入れさう。さうさうさう情を  
 運ひ思をさうさう。さうさう病小假托。玄冬を招け。さうさうさうさうさう。  
 玉芝が公持あといひ月さう。草野へもさうさう。それ彼ホさおめと。影護  
 る。画る候小飢をさのぶさう。子左さうさうさうさう。耕保解がら  
 ちうさうも厭さうりけさう。その頃夫役小宛らさうありて黙止さう。朝さう馬を  
 牽さう遠くさ出さう。ほど小。玉芝の死隙と。飲ひさう。さうさうさう衣服と錢と  
 一袂さう。それを引抱さう。法因寺村小走りゆ。玄冬小あさ。さうさうさう。こが  
 子彼むくつけ小さうさう。且夫と齊眉さうさう。久く艱さう。脱さうさうさう  
 ぼさう。さのさ小さうさう。さうさうさうさう。幸あさう。がさう。夫家さう  
 在さう。暮さう。まさう。帰らさう。さうさう。尚宣ひつる言の誓の信さうさうさう  
 携さう。奔ゆさう。さうさう。それ玄冬の眼と細さうさう。さうさう。然さう。さうさう。宣  
 小。子左さう。さうさう。田夫の妻と。なれさう。さう。駿馬の癡漢を棄てさう。

玉芝の彼日より西入玄冬小女ひを運がらんとも。今さう送る言詰さく  
 子左とつが妻とより小女れど彼人のこと忘る薄さく。その日の艶簡の  
 返事ぶふせざる向小。殊難が在るもちりり茶さう小ゆくこちをいしと  
 遺憾をぶえ折るがさく見送りの一日宿費生りて。終日  
 食と断る時さうそれと子左を驚た慈ひ玄冬の手さうそれと名医の  
 子さう。それより外は醫師の家を遠く。それ行く。彼人を迎来さう  
 んと。さうさう向夫の導たさるともさく。忙しく法因寺村小走ゆゆ。  
 さうさうのよと頼ゆゆ。玄冬の玉芝が返簡がふせと。子左とつが妻と  
 さうねとさういりねと。さうさうはさうさうさうの面影のさうさう。それ  
 ざう誘りさく。子左さうが家小来さう。容体雷小同うて。脈と診と。玉  
 芝の豫る字あゆる艶簡と。と玄冬が袂小さう入れさう。さうさうさう情を  
 運ひ思をさうさう。さうさう病小假托。玄冬を招け。さうさうさうさうさう。  
 玉芝が公持あといひ月さう。草野へもさうさう。それ彼ホさおめと。影護  
 る。画る候小飢をさのぶさう。子左さうさうさうさう。耕保解がら  
 ちうさうも厭さうりけさう。その頃夫役小宛らさうありて黙止さう。朝さう馬を  
 牽さう遠くさ出さう。ほど小。玉芝の死隙と。飲ひさう。さうさうさう衣服と錢と  
 一袂さう。それを引抱さう。法因寺村小走りゆ。玄冬小あさ。さうさうさう。こが  
 子彼むくつけ小さうさう。且夫と齊眉さうさう。久く艱さう。脱さうさうさう  
 ぼさう。さのさ小さうさう。さうさうさうさう。幸あさう。がさう。夫家さう  
 在さう。暮さう。まさう。帰らさう。さうさう。尚宣ひつる言の誓の信さうさうさう  
 携さう。奔ゆさう。さうさう。それ玄冬の眼と細さうさう。さうさう。然さう。さうさう。宣  
 小。子左さう。さうさう。田夫の妻と。なれさう。さう。駿馬の癡漢を棄てさう。



けりち路をゆく小似り。窮鳥さく懐小入るとは。擣師も捕らぬ。美人懐小入ん小既小。家小未あつらひ。後小帰とべ。傾小行社衣を救正家財い。のびず小活却。とき盤纏小宛互小笠を深く。武藏を投て奔り。与九衛つらる。ともせりね。家小おけ。ゆとちくむり。暮る路小馬。近走。外。この月の叙も。内野干王の箇。田糸。不審。馬を門の柱小繫。捨。累父を帰。何処小居。探奇。地炕の灰を掻起。小強。埋火。家の四隅。玉芝の影。怪。抱死。母。小餅。小居。宜。古。

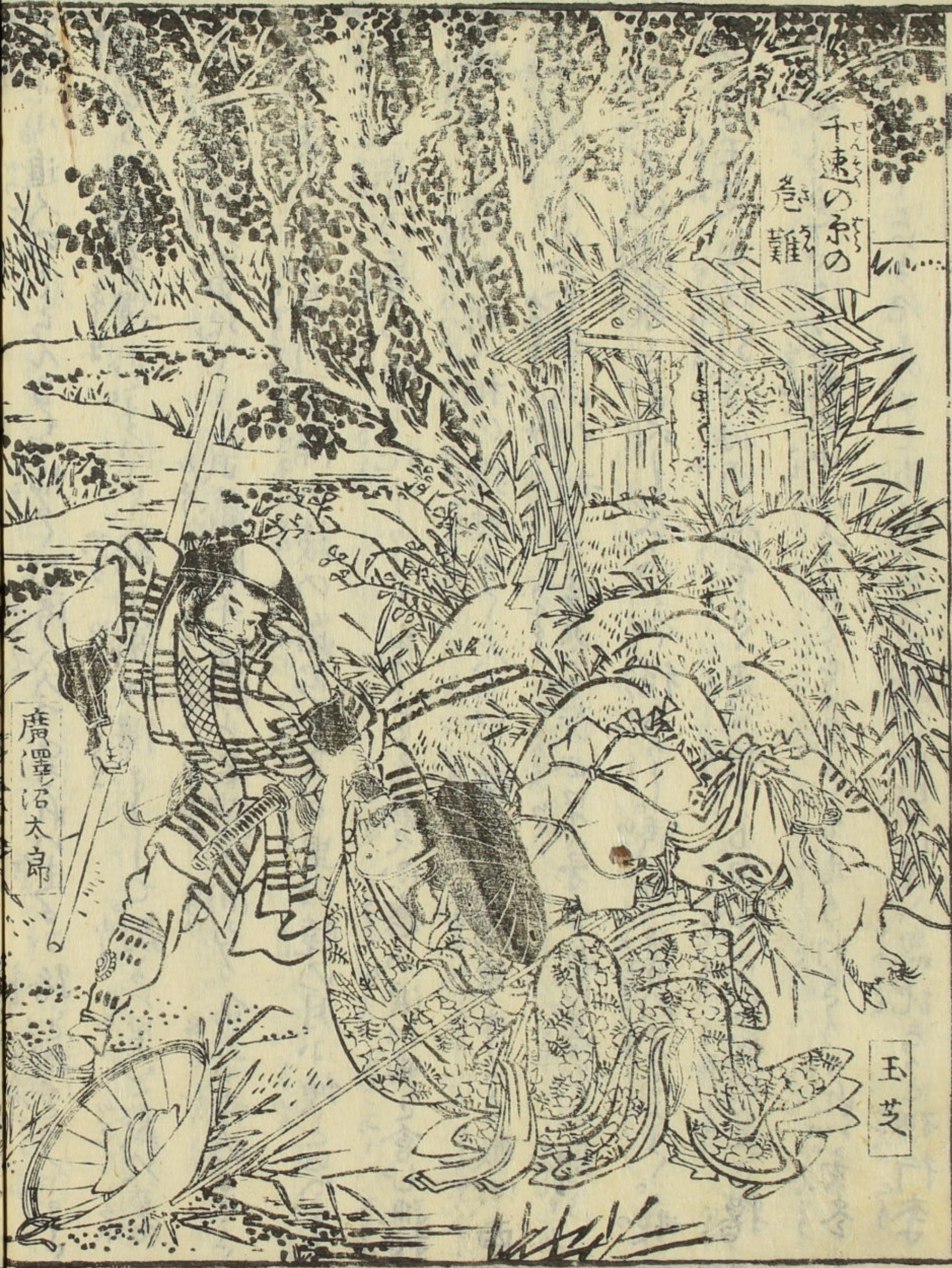
ま。玉芝密夫小誘。憎。智。累。と。抱。妻。外。宿。諸。折。戸。披。裡。人。違。又。睽。近。御。人。如。此。の。故。ち。追。と。頼。ず。人。冷。咲。物。の。報。り。速。ち。操。負。前。妻。を。追。來。他。妻。を。娶。果。忽。地。人。小。棄。去。れ。追。気。走。れ。夜。後。小。あり。ぬ。次。の。日。小。至。り。時。も。後。れ。追。ふ。と。輒。く。捕。り。ち。ど。人。を。罵。れ。と。左。の。頼。小。憤。小。堪。甚。猛。小。旅。ち。の。用。意。

累とせし清三郎が家小到り。玉芝が去冬と奔る。首尾密小物くく。とせしや。れ総角の昔より。不覺とせし遺恨づれの日の散らん。人命の限り諸國を編麻止。憎しとせし奴む。小環會く。この怨心雪べし。しか譲受る八石目あまりの田比の。身に領まのまれば。累とせし。よな小養音く。いぶぐたいの。早退らんとく。まある。清三郎夫婦遠く引留めい。しり妻敵撃入の。潔小似。れども。突入恥の上の恥ち。の。身一己の。もあ。ど累が。く小。ひ。ま。げ。く。甚。志。の。び。あ。く。と。練。り。ま。を。あ。の。耳。う。も。う。け。ど。と。走。り。ま。ま。く。ゆ。ぐ。び。歸。ら。ざ。り。一。ぶ。清三郎い。ひ。ち。く。彼。が。田圃を管領し。この春出生せし。家の女兒。平績とせし。小累が養音ぬか。そし。後。小。の。ま。彼。此。小。や。そ。く。ま。を。あ。の。い。よ。せ。の。胡。慮。と。せ。ち。り。小。ら。る。ど。い。さ。く。あ。れ。西。入。玄。冬。の。玉。芝。を。い。と。げ。引。武。藏。と。投。ぐ。起。く。小。追。入。の。く。ら。ん。ま。を。怖。る。の。落。入。の。つ。ま。ち。れ。い。走。る。小。路。と。擇。こ。ち。く。ま。の。食。と。る。小。糧。を。擇。む。ま。の。く。歌。小。家。に。擇。む。て。朝。の。星。と。戴。れ。暮。の。月。に。擔。ひ。ゆ。れ。く。武。藏。國。千。速。村。と。石。濱。の。間。ち。り。會。下。寺。の。と。ら。く。ま。ま。く。未。小。り。長。江。曲。浦。の。旅。の。路。ち。ひ。を。万。里。の。曉。の。月。小。傾。と。い。へ。も。書。と。三。春。の。暮。の。雁。小。託。し。ぐ。ぐ。と。を。真。父。小。惑。小。涙。の。雨。と。會。ひ。孤。村。の。樹。遠。く。勝。坂。新。入。相。の。鐘。路。ち。く。人。も。いと。稀。ち。り。浅。草。寺。より。數。町。西。小。淨。閑。寺。と。い。ひ。古。寺。の。住。持。と。ま。玄。冬。が。從。母。兄。弟。ち。れ。の。其。処。と。頼。く。ま。ま。の。一。身。の。隱。家。と。ま。ま。い。今。い。ま。や。後。ち。り。一。緒。あ。へ。暮。ぬ。る。ふ。と。く。疲。勞。と。る。玉。芝。と。扶。引。ち。り。西。入。玄。冬。と。走。る。折。り。も。忽。ち。白。兔。の。足。を。踏。み。小。破。く。も。て。る。が。叢。草。の。中。小。入。と。せ。る。小。よ。く。も。走。り。ゆ。ぐ。り。た。れ。の。玄。冬。ま。ま。と。せ。し。こ。の。い。れ。の。こ。も。あ。れ。こ。の。こ。の。え。あ。へ。と。い。ひ。う。け。く。忽。ち。ま。ま。と。押。行。李。



高屋鳳五郎

西入玄冬



廣澤沼太郎

玉芝

千速の糸の  
急難

の麻索を解く。四の足成ひつゝ小ぢぢと。括り著る折しもあれ。前満月の  
 塗まじ小。庭打の臙當く。赤銅仰りの太刀成帯。腰小列。牽繩著く。  
 小六尺ありの桿棒を持つ。荒男二人樹蔭より跳出。一人矢庭小。玄冬  
 が頭鬘を引廻す。この愚者甚臆太。ちぢぢや石濱の千葉殿。あつこの  
 ぼつり小狩倉志あひく。ぶつ。射當あひく。兎成竹地。盗去らんと  
 する。逃る。脱さる。つたまたあわく。罵。水田の中。撲地と突  
 入。跣走んとする。成持。杖を閃く。百會のあつ。成丁と打く。が  
 玄冬。ハ阿呀と叫ぶ。仰。身に。全身。債。俵。ちぢぢ。息絶。玉  
 芝。これを。つる。小悲。く。この。何と。せん。と。泣。叫。び。を。又。一人の。荒男。つ。と。より  
 くる。其。を。ま。ま。也。腰。小。著。る。列。牽。繩。り。く。く。く。と。縛。り。行。き。も。盤。纏  
 も。残。り。ち。ぢ。く。棄。ひ。つ。り。二人。顔。を。又。あ。ひ。く。倅。傍。と。こと。さ。め。ぬ。あ。ひ。玉。芝  
 成。引。ま。く。舊。の。路。へ。走。り。去。人。迹。稀。ち。る。林。の中。小。ぬ。り。る。神。社。あ。り。の  
 ぼ。つ。り。小。到。り。く。玉。芝。と。鳥。居。の。小。小。懸。糸。と。め。り。る。この。二人の。荒。男。の。と  
 廣。沢。の。沼。太。郎。高。屋。鵬。五。郎。と。叫。び。白。撞。ち。る。が。年。末。さ。ま。ま。の。  
 較。計。し。く。路。の。く。女子。成。拐。掣。し。又。引。剥。し。く。旅。人。を。却。と。め。の。と  
 ち。り。この。二。賊。玄。冬。成。謀。らん。お。小。千。葉。家。の。列。牽。小。打。拾。一。隻。の。兎。と。も  
 く。彼。何。の。強。小。指。と。輒。く。打。仆。し。く。玉。芝。成。棄。去。ら。り。か。く。と。沼。太。郎  
 ハ。夕。月。の。紙。小。玉。芝。と。熟。視。く。り。ゆ。か。う。この。と。ひ。より。稀。ち。る。獲。ち。り。これ  
 を。一。包。の。金。小。せん。と。な。ま。く。お。ひ。り。も。及。び。い。れ。は。田。村。より。跟。末。さ。り  
 くる。黒。田。川。の。渡。も。も。踰。さ。と。彼。処。より。如此。せ。んと。較。計。し。の。ち。ぢ。ぢ。か。智  
 囊。より。出。さ。り。ま。つ。れ。ば。これ。が。身。價。三。分。二。の。ふ。り。の。と。り。の。を。鵬。五。郎。頭  
 を。尤。右。小。ら。掉。い。さ。さ。り。あ。い。ど。この。女子。を。携。る。四。方。髪。の。面。こ。と。白

新撰解読物語卷之二

くて禁ずやれられ。腰より一刃を帯く。おぼえあるりのとてんゆら。われ水田  
 の中小投入をこく。立地小打殺し。れがこそ。母が謀も空しく。ねまら。ま  
 ば身價の三分二のれとるべし。とて小沼太昂太小怒つ。縦張翼徳の  
 勇ありとも。孔明が智小よろ。さういふで。全た勝成。ひん。う。ちた物あり  
 か。せ。と。い。か。が。遂。小。お。あ。ぶ。ひ。の。場。と。ち。う。と。と。小。廻。あ。ひ。果。り。引。組。と。探。倒。と。ん。と。挑。こ  
 ぐ。所。も。あ。れ。向。ち。る。稻。藁。の。中。さ。し。く。と。音。で。う。が。一。声。の。鳥。銃。う。く。響。音。と。い。う  
 く。只。今。引。組。と。る。沼。太。昂。が。背。より。鵬。土。昂。が。膝。一。打。ぬ。れ。左。右。一。撲。地。と。倒  
 れ。つ。血。け。り。ま。く。死。し。つ。る。玉。芝。の。の。景。迹。と。ん。く。が。身。又。打  
 殺。さ。う。く。と。お。り。ど。逃。と。う。た。縛。の。索。さ。し。神。の。罰。り。と。れ。れ。ふ。も。あ。く。く  
 戦。慄。と。る。ま。が。一。員。の。大。將。綺。羅。ち。ち。ち。狩。衣。小。熊。皮。の。行。勝。し。く。手  
 小。祿。島。の。鳥。銃。を。拿。乾。し。つ。つ。つ。掛。藁。の。蔭。より。徐。く。と。歩。出。る。小  
 それ。が。徒。者。と。お。ぼ。し。く。く。さ。ま。の。の。れ。表。束。ま。る。夥。の。壯。士。或。の。鷹  
 爪。駕。犬。と。素。或。の。強。國。蹄。鼠。撃。う。ち。ん。ど。と。推。り。神。社。の。ほ。り。小。い。く  
 ま。れ。り。そ。の。と。は。件。の。大。將。社。頭。小。床。儿。と。ま。く。徒。者。小。命。く。玉  
 芝。が。縛。を。と。る。と。く。近。く。誘。引。し。と。ん。く。う。え。つ。志。が。あ。り。く。い。つ。と  
 々。の。や。よ。ま。り。く。な。怕。れ。も。も。れ。の。石。濱。の。千。葉。二。昂。太。昂。惟。嵐。ち。り。  
 り。も。ら。の。ま。り。小。狩。舎。目。今。歸。館。も。と。く。彼。処。ま。り。ま。り。小。  
 二。賊。が。高。ら。ら。小。お。あ。く。び。も。る。小。よ。く。車。の。顛。末。審。小。竊。聽。り。  
 者。奴。ホ。く。廣。澤。沼。太。昂。高。屋。鵬。土。昂。と。い。ふ。兇。賊。く。近。曾  
 毎。夜。千。速。の。村。稍。盡。又。の。小。塚。原。ち。る。飛。鳥。の。神。社。の。ほ。り。く。  
 引。刺。さ。る。う。風。声。あ。る。を。め。く。追。捕。嚴。重。と。と。い。ふ。も。い。ふ。と。の  
 巢。を。搦。び。ご。り。小。さ。く。も。も。兩。虎。食。を。争。ひ。一。虎。は。死。一。虎。は。傷

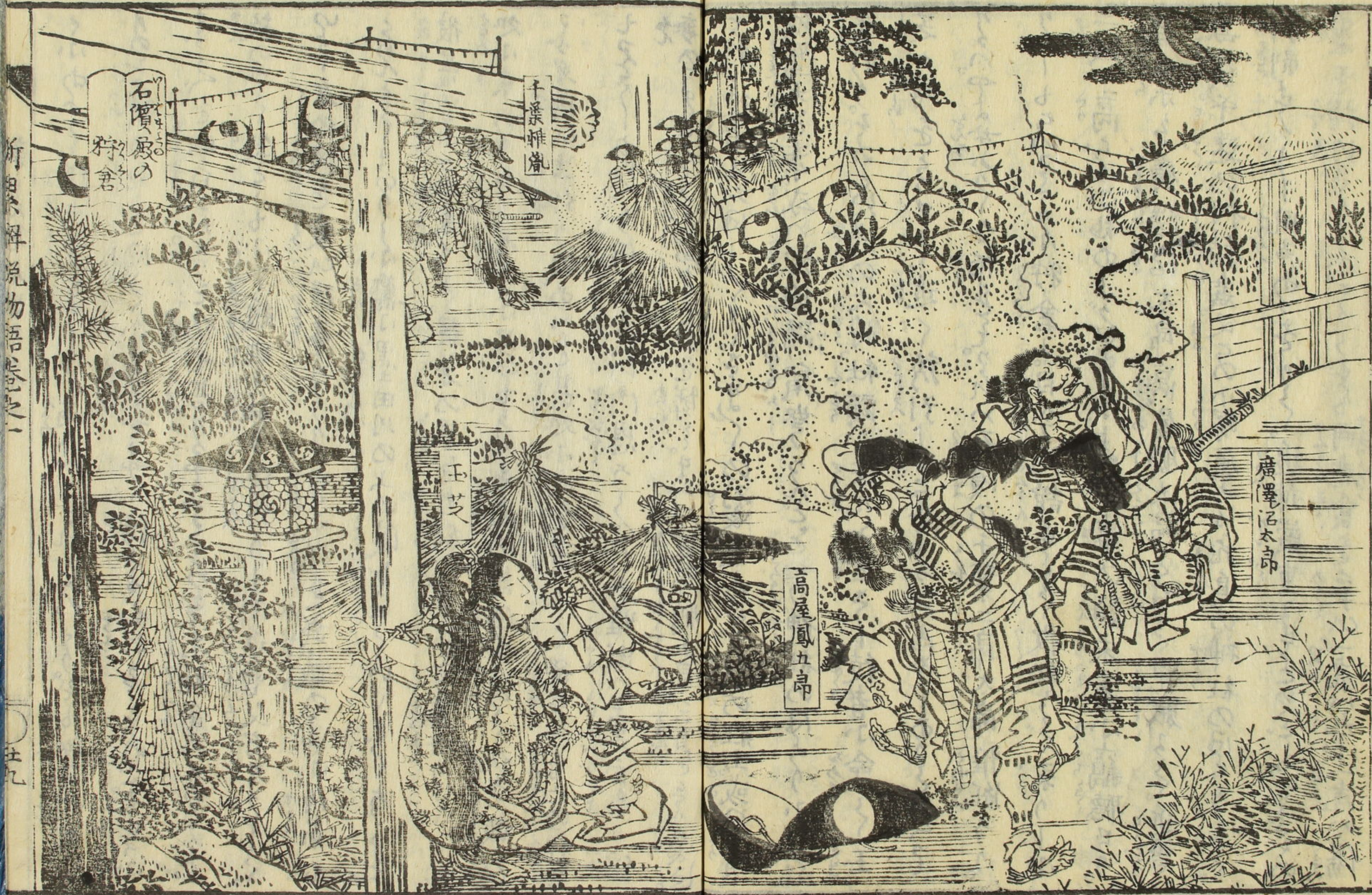
石濱屋の  
御倉

千葉雄嵐

玉芝

高屋鳳五郎

廣澤沼太郎



く小あふく。鴨夫つがひもどく。雨あめさふし。これをねく。そもさへ仕つか行ゆ四よの  
 月つきのど。伴ともいたれくととも同おなく。小玉こたま芝しばやうや。信のぶるまむねれど。ささふ  
 ろろううをを明あ白はくらら告つぐぐ。仍なほてた答こたるるやや。ささららええ鎌か倉くらのの月つきののちちううりり。  
 故ゆゑああららくく父ちちとともも小こ下げ總そう國こく小こ編ひりり。信のぶりり。小近こぢん曾そう父ふももううととくく。  
 けけのの身みのの便べんをを喪さうひひ。從したが弟ていちちううりりるる。男おとこ小こ伴ばんもも武ぶ藏ざうのの小こ位いももちちもも。  
 ととんんととくくままりり。小こ鷹たか小こ墨すみ田でん川がわのの上の上の渡わたををささららいいくくままぐぐちちううととくく。  
 彼かの荒あ男らホホググ出でままりりくく。從したが弟ていのの男おとこをを打うち殺ころすす。ささららをを棄す去はなりりくく。この  
 処ところ小こ未みれれるるちちううりり。ささらら小こととひひももううけけどど。為ためのの恩おん澤たく小こううくく。仇あひをを報はひ  
 るる身み再またびび生なれれりりぬぬ。ああららもも其その処ところ小こ人ひとをを遣つかへへくく。從したが弟ていがが存ぞん亡ぼうのの程ほどを  
 七なな又またささららいいぬぬ。ちちははささららいいのの所ところ思おもひひささららいいぬぬ。惟ただ亂らんのの玉たま芝しば玄げん冬とうがが佳  
 奔をののももととままりりぬぬ。ああららくくこれこれをを憐あはれれむむ。ささらら召めい太た昂おん鵬ぼん五ご昂おんがが首くびををささららいい鳥とりはは。  
 又また一ひとのの近きん臣しん奴ぬりりくく。玉たま芝しばううやや。田でんのの睦むつ小こ遣つかへへくく。玄げん冬とうがが安あん否ひをを尋たず問とひひ。  
 ぞぞくく玉たま芝しば奴ぬりりくく。石いし濱はま小こ帰かへ館たんでんせせららぬぬ。かかををけけらら後のち小このの夜よ二ふた更よりのの左ひだり側わき小こ件けん  
 のの近きん臣しんううりりままくくややんんやや。某たれ墨すみ田でん川がわのの畔ほとりううりり。千せん速そく會かい下げ寺てらのの間まちちるる。  
 水みづ田でんのの残のこるる処ところちちううくく。索さくひひいいがが。後のち人ひとのの屍しかばね死したたるるののららいいととくく。ささららいいののららいいととくく。  
 人ひともも逢あいいひひぬぬ。小こ甲か夜やのの間ま小こ狼ろうちちううりりるる。啣くはみみくくままりりるるべべいい。よよううくくささららいいととくく。  
 小こ帰かへりりままりりぬぬ。ちちううくくややととままりりぬぬ。惟ただ亂らんももささららいいととくく。ささららいいととくく。玉たま芝しばささららいいととくく。  
 出でくく。縁ゆかり由よしととままりりぬぬ。ちちううくく。小玉こたま芝しばはは。是こゝ天あま花はなのの雁かりのの對たい小こ後のちれれ樹じゆ傳でんのの小こ離りれれももささららいいととくく。小こ異いちちううりりるる。呆おろれれ果はるるやや。出でくく。言こと語ごももささららいいととくく。惟ただ  
 亂らんのの氣きささららいいととくく。ささららいいととくく。惟ただ亂らんももささららいいととくく。是こゝ小こ狼ろうちちううりりるる。伴ともとと喪さうひひ投なぐぐぬぬ。ささららいいととくく。  
 又また。ささららいいととくく。心こゝろ憂うれううくく。ねね。伊い元げん未み容よう止と艷えん麗れいくく。物ものののひひびびままもも又また風かぜ流ながれれ。  
 ちちううりり。ささららいいととくく。給たま事ことととままりりぬぬ。ちちううりりるる。苗なむむべべいい。糸いと竹たけのの調てうちちううりりるる。ささららいいととくく。

新撰月言勿語卷一

聞く小玉芝答く。この年末筑柴琴と撰持をいさへひくはむと  
 おさきと聴く。さうもあつてとりのみ。惟胤は頭く。さうとあつた。  
 今宵の夜も蕭然ちり。さう一深きと。此音をいさへと。猛小琴を  
 さうせく。玉芝小授とく。と命をいさへ。玉芝推辞とあはせ。蕭然  
 夜の雨小軒の笈のさやく流し。さう。芦田鶴の青真よりからまうとく。  
 声く奏す。調いと微妙り。さう。惟胤の感く。禄賚賜り。さう。  
 久し老女を召く。玉芝を領らる。さう。かのが房小はひく。あつた。勤り。  
 惟胤小まら。二人あり。家よりさう。田糸姫とさう。十八歳次。男子  
 二品正造とさう。十六歳あり。さう。兄才標致尋常小勝とさう。惜  
 へ。田糸姫の三五の春難痘。さう。隻目首。隻脚蹇。唐のさう。赤  
 松のさう。幹め。異國。さう。宿瘤無鹽。さう。皇國。さう。丹後の  
 竹野姫城。次貝盛が姨母坂額。さう。かくま。さう。いと。醜女。  
 ちり小り。い。小。さう。せん。と。恥。さう。さう。侍女。さう。物のと  
 もあ。かく龍。さう。ち。後。然。小。琴。さう。弾侍婢。さう。さう。さう。あ。さう。  
 落。さう。さう。の。も。さう。さう。れ。さう。の。東。さう。いと。稀。さう。さう。意。小。稱。さう。  
 も。ち。う。さう。痛。さう。さう。薄命の女。さう。さう。難痘。小。係。さう。廢人。さう。さう。  
 或。い。さう。これ。さう。小。因縁。あり。原惟胤の近臣。小。門野。さう。三。と。い。の。あり。さう。  
 忠臣無二の壯夫。さう。さう。倭人。山梨治郎。さう。の。の。に。讒言。さう。れ。罪。さう。  
 刑。さう。さう。れ。さう。さう。三。さう。さう。さう。怨言。さう。さう。さう。治部。の  
 その年の暮。さう。さう。小。牙。さう。り。ね。さう。さう。小。次の春。田糸姫難痘。さう。さう。  
 美。さう。さう。影。さう。忽。地。醜。悪。さう。さう。さう。さう。三。が。死。心。美。の。所。さう。さう。さう。と。人。さう。  
 とい。さう。さう。さう。さう。さう。田糸姫。さう。の。夜。さう。さう。玉芝。が。琴。道。の。微妙。小

新編月言言

三



愛く。父惟胤小まうしとひはるり近く召仕る小玉世を  
 長く。女子あまのよろづ信ずる進止る程小田糸姫の飲  
 び。彼ちとるととひく。かくて玉さる。そのの真愛の衣食  
 何れれのもまうし。契つる。玄冬。も。と。り。あ  
 ねど又尉心もまうし。畢竟彼西入玄冬。實小。不。下。り  
 次の巻小解。

新撰解州物語卷之一 終

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

